

2016年3月30日  
三菱重工業株式会社  
株式会社日立製作所  
住友商事株式会社

## タイ・バンコクレッドライン建設プロジェクト受注について

三菱重工業株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：宮永俊一、以下「三菱重工」）、株式会社日立製作所（本社：東京都千代田区、執行役社長兼 COO：東原敏昭、以下「日立製作所」）、住友商事株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：中村邦晴、以下「住友商事」）は共同で、タイ国鉄（State Railway of Thailand）とバンコクレッドラインプロジェクト、機電システム設計・建設契約（以下「当契約」）を締結しました。受注金額の合計は、約 1,120 億円（約 323.99 億タイバーツ）で 2020 年の完成をめざしています。

三菱重工は信号・通信・軌道・電力などのシステムの設計・調達、日立製作所は車両の設計・製造、住友商事は商務の取りまとめ、およびシステム現地据付を担当します。

近年、タイでは自動車の利用増加による道路渋滞や大気汚染が深刻な問題になっていることから、低炭素かつ大規模輸送を実現する交通インフラの構築が求められています。バンコクレッドラインプロジェクトは、タイ政府が進める大規模事業計画の一つで、バンコク市中心部の Bang Sue（バンスー）駅を起点とし、北に 26.4 キロメートル、西へ 14.6 キロメートル延びる、全線高架の鉄道路線を建設する計画です。北線建設は日本政府からタイ政府へ供与される円借款、西線建設はタイ政府自己資金にて建設されます。当契約は、列車の安全な運行を実現する信号システムやアルミニウム合金製の軽量車両のほか、鉄道システム一式の設計・建設をフルターンキー（※）にて請け負うものです。

三菱重工は、台湾新幹線やドバイメトロなど、多くの大型鉄道プロジェクトで納入実績を持ち、全自動無人運転車両（APM）など新交通システムにおいても国内外の都市部や空港で多くの実績があります。日本初の総合交通システム検証施設も建設・運営しており、交通システム・インテグレーターとしての豊富な技術と経験を本案件に注いでいきます。

日立製作所は、鉄道分野におけるソリューションプロバイダーとして、都市鉄道から高速鉄道に至るまでさまざまな車両システムを国内外に提供してきました。これらの豊富な納入実績により得られた知見を生かし、現地のニーズにあった、信頼性の高い車両を提供していきます。

住友商事は、これまでに国内外で積極的に鉄道関連ビジネスを展開しており、東南アジア、米国、台湾を中心に数多くの鉄道建設案件、車両輸出案件を手掛けてきました。住友商事は、こうした豊富な経験をベースに本案件の着実かつスムーズな契約履行を推進していきます。

三菱重工、日立製作所、住友商事の3社は、それぞれの強みを掛け合わせ、安全かつ便利であるとともに、低炭素の大規模交通・輸送システムを提供することで、タイの持続的な成長に貢献していきます。

※フルターンキー (Full Turn Key)：工事込み設備一括請負契約。

## ■概要

案件名： バンコク(レッドライン)(I)における大規模輸送システムの建設に関する契約3

The Construction of Mass Transit System Project in Bangkok  
(Red Line)(I) Contract3

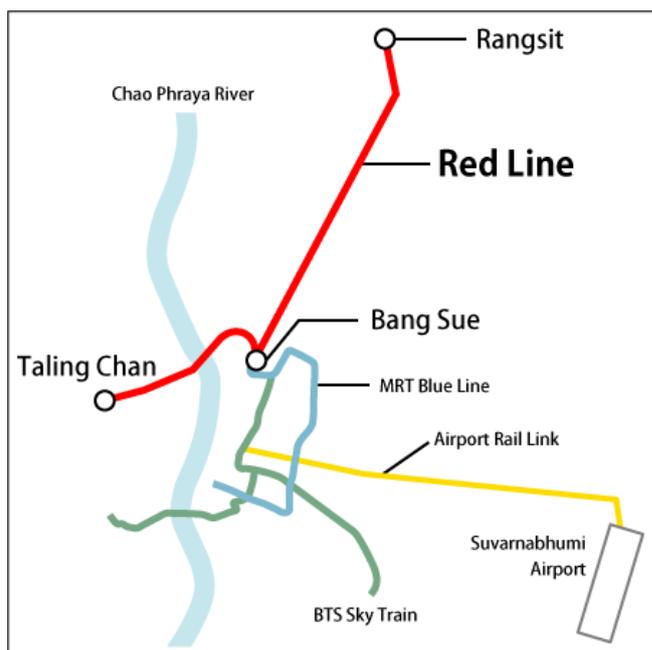
顧客： タイ国鉄

工事範囲： 土建を除くシステム建設一式 (軌道、架線、変電、信号、通信、車両、他)

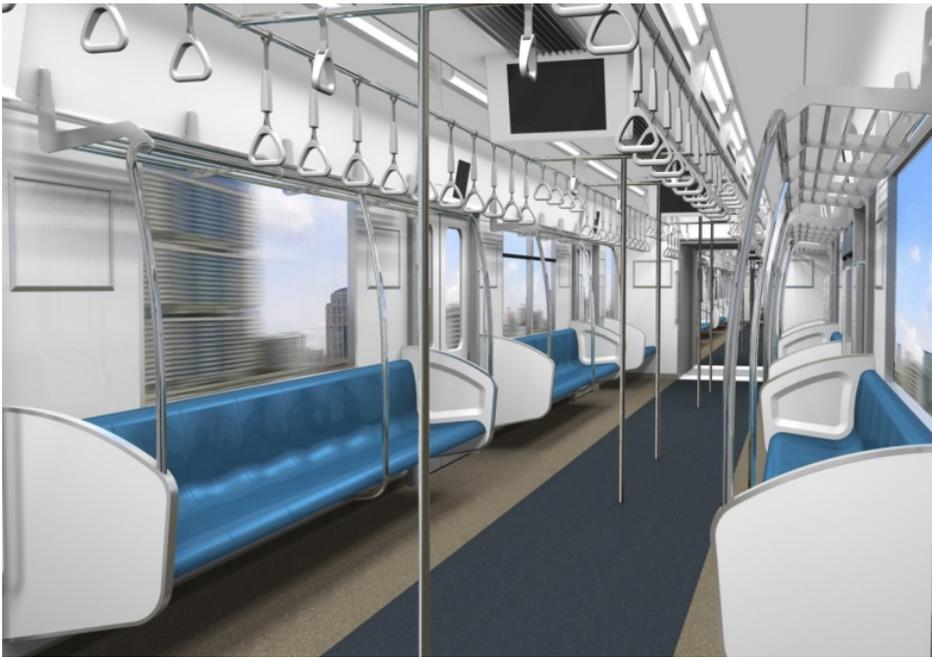
工事概要： Bang Sue 駅を中心とする北線 26.4km (Bang Sue～Rangsit 間)  
西線 14.6km (Bang Sue～Taling Chan 間) の高架鉄道の新線を対象とするシステム建設。

工期： 1440 日 (約 4 年間)

## ■地図



■イメージ図



以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---